

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	依存症対策推進事業			事業番号	011-275
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤依存症対策の強化		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.5	
		有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		令和 2 年度		点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、依存症対策地域支援事業実施要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区、出先機関					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	依存症で悩む市民、及び依存症となるリスクのある市民、その他市民	対象数	—			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	依存症に関する知識の普及啓発を行い、予防もしくは重症化の予防をめざすと同時に、状況やニーズに応じて、依存症に関する相談、受診、自助グループの利用ができるようになる環境整備をめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	①アルコール依存症関連問題啓発週間における啓発事業 ②ギャンブル等依存症問題啓発週間における啓発事業（大阪府、大阪市との共同事業） ③行政機関及び医療機関向けの依存症に関する研修事業（大阪府、大阪市との共同事業） ④依存症治療拠点、専門医療機関選定 ⑤堺市域版OACミニフォーラムの開催（年1回） ⑥依存症対策推進懇話会の実施（年2回程度） ⑦依存症対策庁内連絡会の実施（年2回程度）					
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	[図表]					
	依存症地域支援計画に基づく依存症対策の総合的な推進	[図表]					
	当該目標を設定した理由	懇話会等からの意見も聴取しつつ、依存症対策にかかる普及啓発事業や、地域連携事業等を計画的に遂行するため。					
目標に対する実績		依存症対策推進懇話会を2回実施。堺市域版OACミニフォーラム（交流会）の実施。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	依存症支援者研修事業受講者数	人	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	20	20	20	
			実績値	14	4		
達成率	70%	20%					
当該指標を選定した理由		社会資源として医療機関や相談機関を増加させ、市民が受診や相談をしやすくすることが必要であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		研修受講者数					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	依存症対策推進事業	事業番号	011-275
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
	事業費 (a)	3,057	472	642	651	1,907	
13	財 源 内 訳	国支出金	1,510	236	300	317	932
		府支出金			0		0
		市債			0		0
		その他 ()			0		0
		受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
		一般財源	1,547	236	342	334	975
14	人件費 (b)	9,085	8,225	6,885	6,885	6,277	
15	年間経費(c)=(a)+(b)	12,142	8,697	7,527	7,536	8,184	

事業費の内訳

(単位：千円)

	項目	年度		事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	決算				R5	決算		
16	謝礼金	R5	決算	143	72		R5	決算		
		R6	予算	217	109		R6	予算		
	普通旅費	R5	決算	11	11		R5	決算		
		R6	予算	39	39		R6	予算		
	消耗品費	R5	決算	24	12		R5	決算		
		R6	予算	55	28		R6	予算		
	通信運搬費	R5	決算	26	16		R5	決算		
		R6	予算	21	11		R6	予算		
	依存症対策事業負担金 (啓発、研修)	R5	決算	447	223		R5	決算		
		R6	予算	1,575	788		R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 依存症研修受講者数	人	14	2
	② 上記①にかかる年間経費	千円	753	731
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	53,786	365,500

備考 (算出についての説明等) 依存症地域支援者研修事業 (大阪府、大阪市との共同事業) に係る負担金及び人件費を計上

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 依存症対策においては、「予防」、「早期発見」、「回復支援」という各ステージごとの支援形態があり、医療機関や福祉施設等の、ステージに応じた社会資源がそれぞれに対応している。また、必要な人に情報や支援が行き届いていないことが問題とされている。アルコール、薬物、ギャンブル等など、依存症の疾患群は複数あるが、回復や支援には共通性があるため、「依存症」という枠組みで計画的に事業を推進することが有効であることから、令和4年3月に堺市依存症地域支援計画を策定し、この計画を基に各事業を実施している。なお、依存症研修について、堺市内の機関からの受講者は2人という状況であった。受講者について目標を達成できず引き続き周知等の課題はあるが、本研修は、業務委託等の観点から本市単独で実施するよりも大阪府、大阪市、堺市の共同事業として実施する方が効果的かつ効率的であると考えられるため、引き続き連携しながら、研修効果の向上について検討・実施する。また、依存症への対応が可能となる人材の更なる育成のため、受講者数の増加のための検討も行う。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 基本計画2025では、重点戦略の(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築「依存症対策の強化」を掲げている。令和4年3月に「堺市依存症地域支援計画」を策定し、専門医療機関の充実や、関係機関等の連携の場を創設することなどを目標として掲げた。その中で、依存症支援体制の構築の一環として、令和5年度も堺市域版OACミニフォーラムを開催し、支援者への依存症に関する知識の普及や、交流会を通じての顔の見える関係性の機会として取り組むことができた。計画は令和4年度からの5年計画であり、進捗管理も行うことから、2025年時点での改善点を確認できるようにしており、取組の方向性に合致している。

また、各依存症のなかでもアルコール依存症は、市民にとって最も身近であり、アルコールの習慣的で過剰な摂取や、依存症の状態になることは、肝臓病やがんなどの身体疾患、不眠症、うつ病になるリスクが増大する。うつ病は自殺における大きなリスク要因であることから、予防や医療的、福祉的な支援が必要である。このように依存症と自殺との関連性は深いことから、「堺市依存症地域支援計画」においても、自殺対策を盛り込んでおり、基本計画2025における「自殺死亡率14.2」の達成にむけて寄与する。